

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	三橋 勝則	電 話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3877		事務事業名称	ふれあい音楽会開催事業					短縮コード	経常		臨時	3877
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		実施計画							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
平成１３年度より「八千代市子ども憲章」の制定を記念してふれあい音楽会開催事業を開始した。「夢いっぱいふれあいコンサート」については例年実行委員会を組織し、市民体育館において小中高校生が参加して実施されている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
参加校、人数が年々増加しており、内容を充実させて継続する必要がある。					大項目（節）	01	学校教育						
					中 項 目	02	義務教育						
					小項目（施策）	02	教育内容の充実						
					細 項 目	01	学習・生徒指導の充実						
						03	心の教育の推進						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		平成13年4月 ～		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	小中学校児童生徒、及び教員							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 小学校１０校、中学校１０校、高校１校が参加し、合同でコンサートを実施。							
	※平成20年度に計画していること： 前年度と同程度以上の規模でコンサートを実施。							
意図 （何を狙っているのか）	八千代市子ども憲章を広く市民に広め、制定の意義を高める。小・中・高等学校が合同で演奏することにより交流を深め、豊かな情操と「ふるさと八千代」意識を高める。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	小中学校児童生徒数	人	15,381	15,834	15,552	16,164	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	参加児童生徒数	人	821	850	880	850	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	参加児童生徒数／小中学校児童生徒数	%	5.3	5.4	5.7	5.3	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3877	事務事業名称	ふれあい音楽会開催事業			所属名	指導課
			単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	669	801	727	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			・バス借上げ料 ・使用料及び賃借料	・バス借上げ料 ・使用料及び賃借料	・バス借上げ料 ・使用料及び賃借料		
	人件費 (B)			千円	1, 306. 5	1, 304. 7	1, 304. 7	0
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円		1, 975. 5	2, 105. 7	2, 031. 7	0

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		上位の施策「学習生徒指導の充実」を推進するために、ふれあい音楽会開催事業を実施しており、結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		ふれあい音楽会に参加する学校、児童、生徒については毎年入れ替わりがあり、単年度ごとに初期目的を意識した取り組みが必要と考える。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		市で定めた「八千代市子ども憲章」の意義を広める事業であるため、民営化にはなじまない。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい		通常の情操教育としてとらえ継続して実施する。				
			☒ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		情操芸術教育振興事業に包括する。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)		☐ ある						
			☐ ない						

コード	3877	事務事業名称	ふれあい音楽会開催事業				所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			情操芸術教育振興事業に統合する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☒ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			情操芸術教育振興事業に包括して実施。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
市民から好評で、毎年１０００人以上の観客が集まっている。「子ども憲章推進事業」であることから社会教育課、青少年課と連携して開催していくことが望まれる。	

所属長コメント	本事業については、今後は情操芸術教育振興事業として行う。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続	今後は情操芸術教育振興事業として有効性・効率性向上について検討し推進すべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☒ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☐ 現状のまま継続		